

大阪フロイデ合唱団 団総会 (開催日: 2021年1月17日(日) 15:50~16:30)

◆出席者数: 50名 (当日参加者: 22名 委任メール: 16名 メールによる回答12名)
全団員数 58名 (S16、A24、T10、B8) →総会は成立しました。

◆議案 1) 運営委員の選出と承認 → 承認

団長: 吉田泉、会計: 辻井潤、総務: 山下芳郎、企画: 杉田光治、広報: 粟野直子
パートマネジャ: S 川端多栄子・河野ゆかり、A 吉田泉、T 辻井潤、B 山下芳郎・鈴木敏夫

2) 会計報告 (先シーズン決算、及び、今シーズン予算と対応) → 承認

(今シーズンの対応については、意見交換ののちに挙手にて承認となりました。意見交換内容は後述)

3) 検討事項・団規約(細則)への追記(細則7. 緊急事態の際の対応) → 承認

●出席団員

当日会場出席(22名): S 粟野、川端、才野木、深野、松岡、森尾、A 植山、吉川、木村、竹内、藤田敏、
真壁、安武、吉田、T 荻野、小山、佐伯、杉田、李、山口、B 岩井、楠川

委任メール(団長に委任)(16名): S 青木、姜、A 乾、岡本、加藤、大藤、徳田、中林、範国、藤井、
藤田幸、安里、吉浦、T 宮下、B 大森、中村

事前回答(12名): S 河野、津田、西野、安井、山下、和田、A 板井、T 辻井、虎谷、B 四方、鈴木、山下

●意見交換等

2) 会計報告のうち、今シーズンの赤字予想に対する「当面の考え方」に関して。

①演奏会形態の見直しの検討

今期は収支上67名分の団費収入がないと日常経費は赤。現時点で登録団員は58名であり、半数以上が待機状態のため、団費収入は人数分集まらない。シミュレーションでの赤字額より、大きくなる可能性が高い。

また、演奏会出演団員数を考えると、チケット販売上、演奏会収支も厳しくなる。

大きく経費削減する方法として、演奏会の形態を検討してはどうか。(ピアノ伴奏、ホール変更等)

・オーケストラやいずみホールではなく、ピアノ伴奏やもっと安いホールを検討してはどうか。

・オーケストラとの演奏や、憧れのホールはフロイデの魅力。外してしまうと魅力がなくなるのでは?

・今変えてしまうと、待機している団員の「戻ろう」と思うイメージが変わるのでは?

・「ずっと」ではなく、今回限り、として安いホールにする、とか、ピアノ伴奏は考えられないか?

・一度変えてしまうと、もう戻れないのではないか。

・フロイデのこだわりとして強いのは、オーケストラか? ホールか? →オーケストラ(亀井先生より説明いただきました)
オーケストラとの曲を選んできた。ホールはフェス~シンフォニー~いずみ、と変遷はしてはいる。)

・今、緊急事態の状態のときに、根幹にかかわるところの変更するのはどうか。

等の意見交換ののち、下記 a) b) で挙手してもらいました。

a)演奏会形態について、現時点で変更検討する。…出席者2、メール回答者2名も変更意見あり。

b)現時点では、変更検討は行わない。…出席者16、委任状16、メール回答うち承認者11

よって、b) 現時点では、演奏会形態の変更検討は行わない、とします。

②赤字補填方法について…以下 a) b) で挙手を行いました。

a)団費値上げなど、一律で負担すべき変更を行う…出席者3

b)今回の緊急避難的な収入増方法を取る。カンパなど…出席者17

よって、b) 現時点では、緊急避難的な収入増方法を取る、ということにします。

ただし、緊急避難的な収入方法については、いろいろと方法を探っていくこととなりました。

(カンパ以外に、演奏会協力金と言う形にしてはどうか。

また、メール回答の方から「個人によって、できるできないがあるため、プライバシーに配慮してほしい」等。)

3) 団規約（細則）への記載について

緊急事態への対応、としての追記自体には特に質疑はなく、承認を得られました。

・メール回答団員から「今回の具体的措置“待機団員”の定義は何か？」という質問をいただきました。

待機団員について：昨年4月15日本番に向けて練習していた団員で「今回の状態の中で練習参加が難しいが、状況が可能になれば、団活動に戻りたい」と思っている団員のみなさんを、休団者と区別する意で、待機団員とさせていただきます。その方々には団維持のための維持協力（月1000円）をお願いしています。また、毎週のメールニュースや郵送連絡など行っています。ただし、4/15本番に向けて在籍していた、ということで、本人の意志を確認したわけではありません。

そのため、特に10/28以降で、明確に休団してほしいという方が4名いらっしゃいました。

また、維持協力についても「団には戻りたいが維持協力金は難しい」という方もいらっしゃいます。今回の規約追記文章でも「団員は緊急事態による個々の状況が許す限り、方針に従い、協力する。」ですので、協力金の無理をお願いするものではありません。その方も待機団員として、連絡をお送りしています。

4) その他質疑

・練習期間を1年にするのはどうか？演奏会日程が「いつもこの時期」と決まっているほうが勤めやすい。

→（亀井先生より回答）練習期間としての適切さを考えると、1年は長すぎて苦しい。8ヶ月程度がよい、との判断。（今回は、春くらいから参加しても本番に出られるよう、多めの期間を取っている）

・メール回答者からの質問で「この時期に練習することへの疑問」を記載された方がいらっしゃいましたが、昨年クリスマスに発送の全員宛手紙で、説明していますので、総会では説明は割愛しました。

・メール回答者からの質問で「会計資料を詳しく確認できないか」との質問がありました。もちろん、お見せできます。お申し出ください。

意見交換は、活発に行われました。出席者からも、赤字についての心配は多数いただきました。（上述）

11月以降での参加団員は（総会日は欠席したが、通常は参加している団員含め）29名です。お金の問題だけではなく、音楽としても「待機団員の方が戻ってきてくれますように。一刻も早く戻る状態になりますように」と祈るばかりです。出席しているメンバー誰もが、今のこの人数（29名）ではなく増えるはず！と思って練習をしています。

待機しているみなさんは「状況が許せば必ずまた一緒にうたう」ことを、思っていてくださいね！みなさんが、そう思っていて下さることが、団のエネルギーになっています。コロナの状況はますます不透明なので、この春の復帰は（個々の事情によっては）難しいかもしれませんが、連休明けでも、或いは、たとえ次のシーズンでもよいので、大阪フロイデ合唱団員の仲間として、心を寄せてください。せっかく身に着けた「歌うカラダ」もキープしておきましょうね！


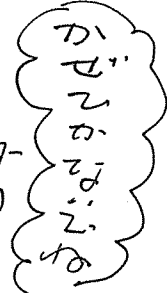
今回の総会では、なんとか「フロイデの演奏会の形は変えないで」「赤字については今回限りの緊急避難的な方法を考えて」ということで、賛同者多数により承認いただきました。ただ、この春時点で、どれくらい団員が戻ってきてくれるか、或いは、9月に設定しているコンサートができるかどうか、など、今後の状況によっては、検討しなおさなければならない場合もあると思います。先生方とも、いろんなシチュエーションを考慮して、相談していこうと思います。

「テレジア・ミサ」も「雀のミサ」もホントに素敵です。これまで、何年もの間、いっぱい怒られながら鍛えられてきた私たち、今、たまたま、練習に参加できていないかもしれませんが、必ず、声を合わせられますように！

ちよっと寒いけど、換気いっぱいして、頭に酸素吸い込んで、ココロ元気に行きましょう！

※待機団員の方から「口座番号を再度教えて欲しい」の質問あり。（振り込んだ際は吉田泉までメール連絡してね）

● 団口座：三井住友銀行 備後町支店 普通 1782411 大阪フロイデ合唱団 団長吉田泉

	1/27(水)	2/3(水)			
	天王寺区民センター *18時～20時(退出) (1/4～3/7は区民センター20時 肉館のため練習時間を変更しね)			2/10(水) 18:30～ 小田北生涯 学習センター	